



お部屋の照明が点かなくなったら

◇お部屋の照明（電気）が点かなくなったほとんどの理由が、電球・蛍光管の寿命によるものです。電球・蛍光管は消耗品ですので、ご自身で交換してください。
※点灯管(グローランプ)も併せて交換してください。



◇住宅備え付けの照明器具について、本体・スイッチの故障の場合は修繕にて対応いたします。

◇和室・洋室・DK（一部の建物を除く）の天井照明器具は、ご自身で設置したものになりますので、本体の故障に伴う修理手配・本体交換などはご自身で行ってください。
※過去に問合せを頂いた中で、故障ではなかった事例もありました。
修理・交換を行う前に以下の事をご確認ください。

① 点灯管（グローランプ）が切れていた。



最近の照明器具はLEDのものやインバーター内蔵のものが増えてきましたが、少し前の蛍光灯タイプの照明器具は、ほとんどが「点灯管（グローランプ）」を使用した点灯方式を採用しています。

「点灯管（グローランプ）」とはスイッチを入れたりヒモを引っ張った時に、青っぽくチカチカ点滅する部分です。「点灯管（グローランプ）」が切れてしまうと蛍光管が新品でも点灯しません。
蛍光管を交換するときは、「点灯管（グローランプ）」も一緒に交換しましょう。



点灯管（グローランプ）

② 壁スイッチが切れていた。



普段、照明器具のヒモを引っ張って入切していくても、何かの拍子に壁スイッチを押してしまう事もあります。また、入居当時からタンスなどの陰にスイッチが隠れてしまっていて、地震でタンスが揺れスイッチを押してしまったという事例もありました。
一度壁スイッチを押してから、再度器具のヒモを引いてみてください。



③ リモコンのチャンネルが変更されていた。



リモコン付きの照明器具をお使いの場合は、他室の照明器具の入切と使い分けるためにリモコンに「チャンネル切替」が付いているものがあります。
CH1、CH2などの表示があるスイッチを切り替えて操作してみてください。



照明リモコンの例